

# JRiver Media Center CD リッピングマニュアル

有料ソフト JRiver Media Center を使用したオーディオ CD のリッピングについてご説明します。

## ◆ JRiver Media Center (有料ソフト \$49.98) ◆

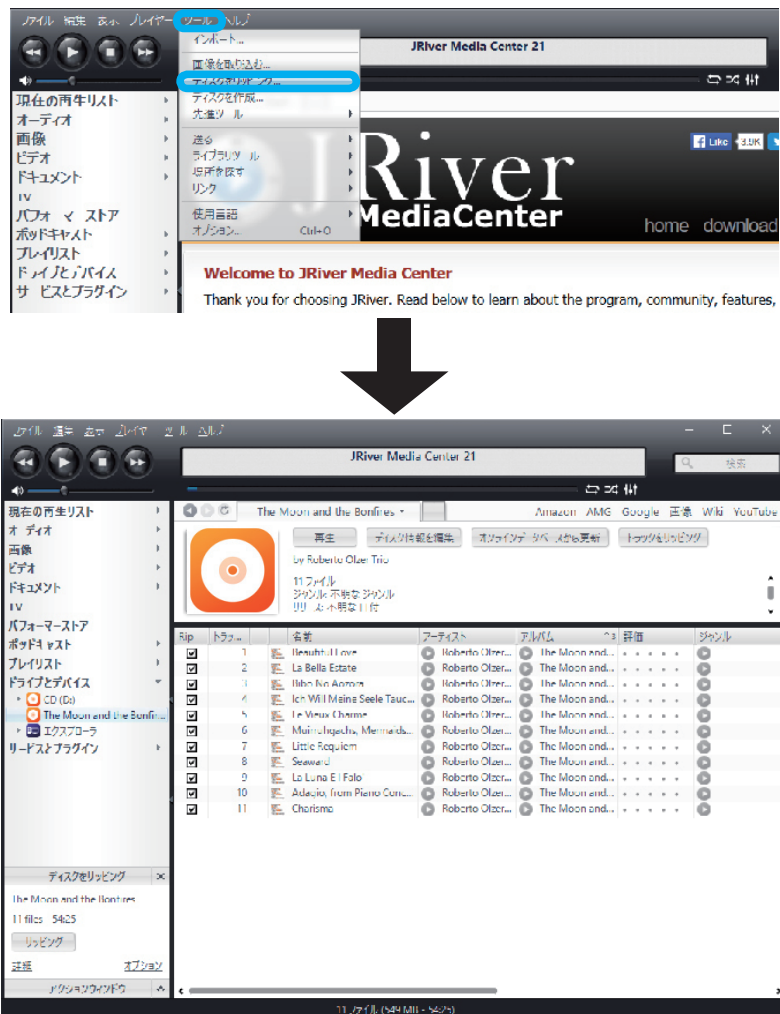
パソコンや HDD に保存された様々なフォーマットの音源再生、DSD のネイティブ再生が可能。CD/DVD/BD の再生にも対応しています。直感的に操作がおこなえ、高音質であるため国内外問わず人気のソフトです。設定変更のみで表示を日本語に変更できます。

JRiver Media Center はこちら ⇒ <https://www.jriver.com/>

## 1 JRiver Media Center を起動する

【以下の画面は Windows10 ですが、Mac OS X でも大きく違いはございません。】

1. インターネットにパソコンを接続し、JRiver Media Center を起動します。
2. 光学ドライブに CD を入れて【ツール】⇒【ディスクをリッピング】をクリックします。



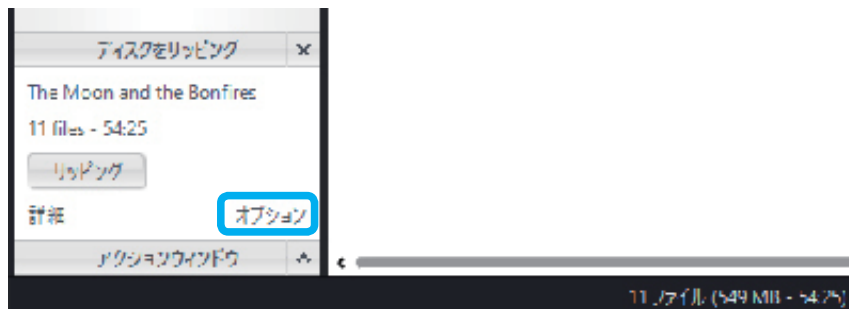
光学ドライブに挿入した CD がデータバンクに登録されている場合、上記のように表示されます。データバンクに登録されていない CD に情報を追加する手順は、以下をご参照ください。

テキストデータを追加する場合 : “5 ディスク情報が表示されない場合” (7 ページ)

画像を追加する場合 : “6 カバーアートが表示されない場合” (8 ページ)

## 2 光学ドライブの設定をおこなう

1. “オプション” をクリックします。



2. 【CD,DVD&BD】 をクリックし、下記画像を参照し設定してください。

精度の高いリッピングをおこなうため、読み出し速度を低く設定してください。

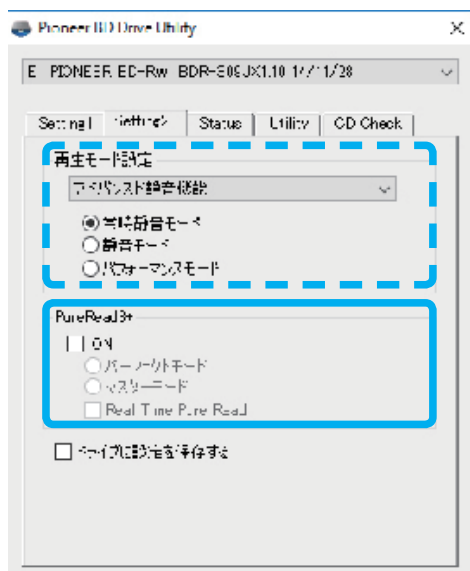
※光学ドライブの仕様により、設定した速度と異なる速度でリッピングされる場合があります。

※複数台の光学ドライブを接続している場合は、事前にパソコンからの認識名称をご確認ください。

### 👉 リッピングのヒント その1

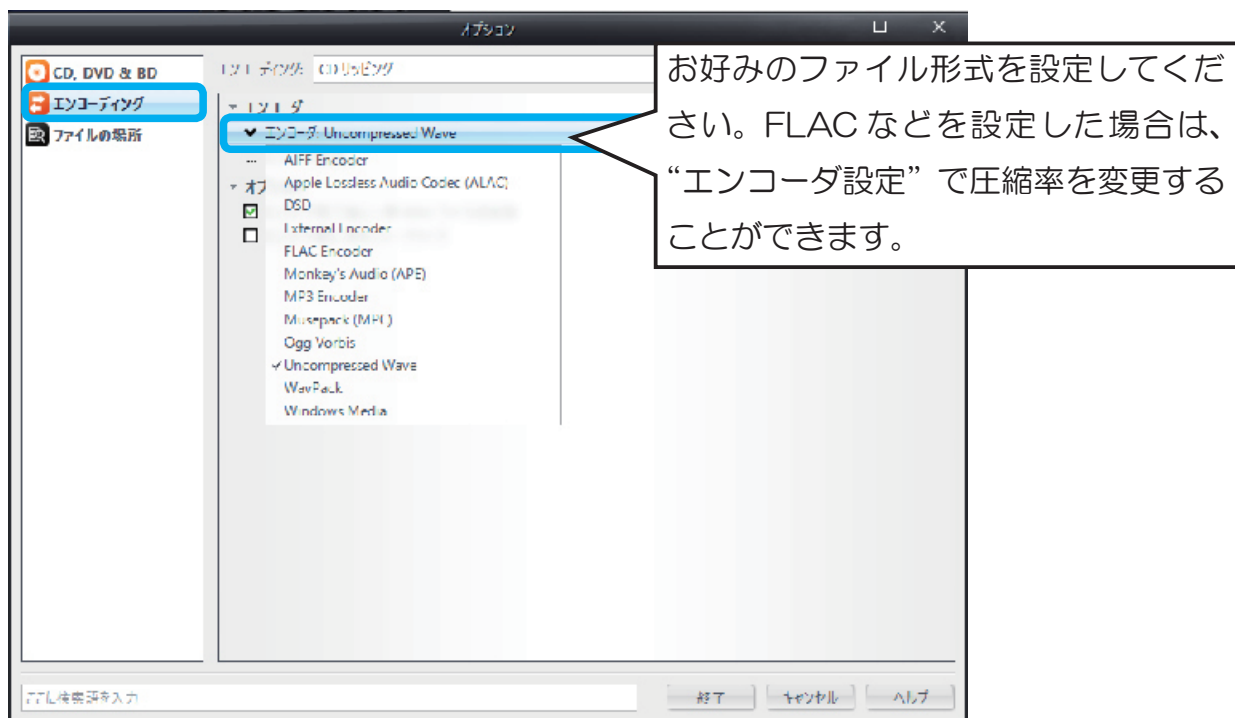
Pioneer 製 BDR-S09J-X をご利用の場合、【Pioneer BD Driver Utility】で光学ドライブの設定が可能です。“Pure Read3+” の設定変更による音質差をご確認ください。

また、音楽 CD 再生時は“再生モード設定”を変更して音質差をご確認ください。



### 3 保存する音楽ファイルのフォーマットを設定する

1. 保存する音楽ファイルのフォーマット設定をおこないます。【エンコーディング】をクリックし、下記画像を参照し設定してください。

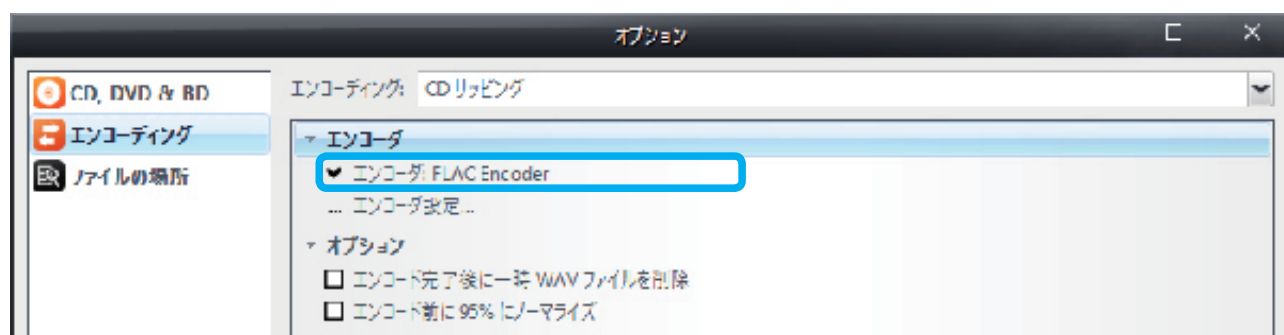


#### リップリングのヒント その2

保存する音楽ファイルのフォーマットを非圧縮フォーマット（WAVなど）にした場合、再生する環境によってテキストデータが正しく表示できない場合があります。保存した音源をネットワークオーディオなどで運用する場合は、メタデータの互換性が高い可逆圧縮のFLACフォーマットをおすすめします。

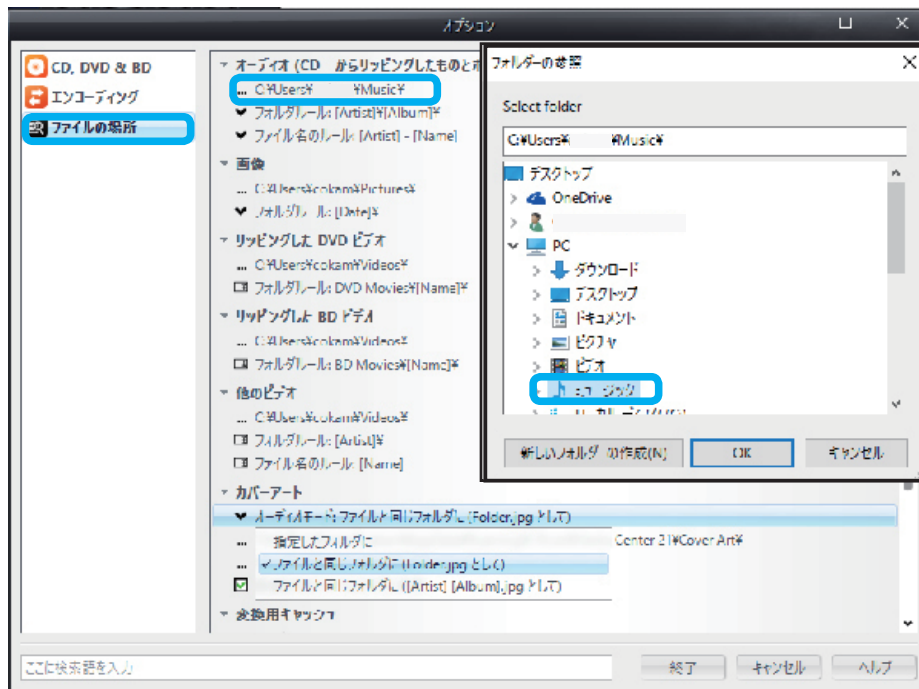
※非圧縮フォーマットでもテキストデータ / カバーアートが正しく表示される場合もあります。

※使用する環境下の機器（ネットワークオーディオプレーヤー / NAS / 再生アプリケーションなど）が“エンコーダ”で設定したフォーマットに対応しているかご確認ください。



## 4 音楽ファイルの保存先を設定し、リッピングを開始する

1. 音楽ファイルの保存先を設定します。【ファイルの場所】の“オーディオCDからリッピングしたものとポッドキャスト”の下段をクリックし、リッピングした音源の保存先を設定します。



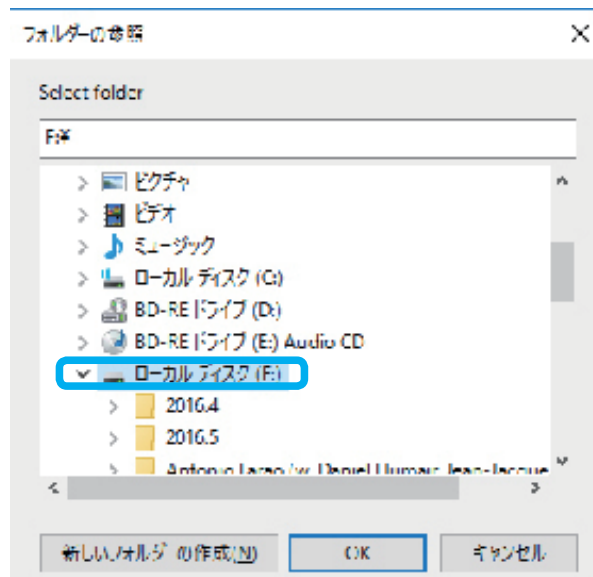
初期設定では PC > ミュージック に設定されています。外付け HDD などに保存する場合は、設定を変更してください。

### リッピングのヒント その3

パソコンに USB 接続した HDD や同一ネットワーク上に設置した NAS などに音源を保存する場合は、“ファイルの場所”でお好みの保存先を設定します。

※保存先を変更する前に、パソコンからストレージが、どのように認識されているかを確認してから保存先を変更してください。

例) USB 接続の外付け HDD に保存先を変更する場合



## 👍 リッピングのヒント その4

“ファイルの場所”の“フォルダールール”と“ファイル名のルール”を設定することで、音源ファイルがより管理しやすくなります。

4-1.【ファイルの場所】の初期設定は以下の通りです。

フォルダールール : [Artist]¥[Album]

ファイル名のルール : [Artist]-[Name]

このままの設定でリッピングした場合、ファイルは右記のように作成されます。

ジャンル : JAZZ

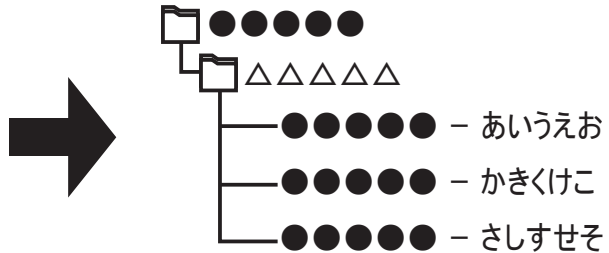
アーティスト名 : ●●●●●●

アルバム名 : △△△△△

曲名① : あいうえお

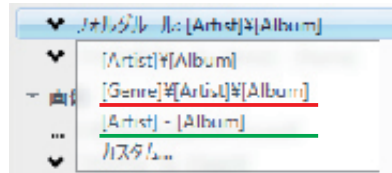
曲名② : かきくけこ

曲名③ : さしすせそ

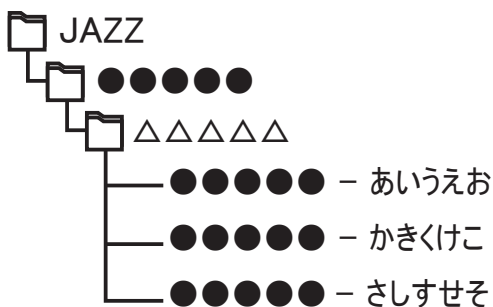


### “フォルダールール”を変更した場合

フォルダは下記のように構成されます。



・ [Genre]¥[Artist]¥[Album]

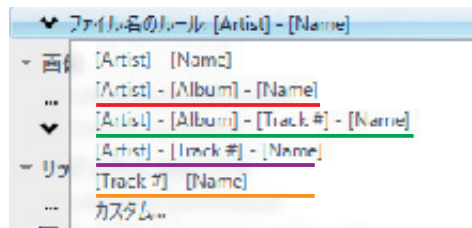


・ [Artist]-[Album]



### “ファイル名のルール”を変更した場合

曲名は下記のように記録されます。



・ [Artist]-[Album]-[Name] : ●●●●●● - △△△△△ - あいうえお

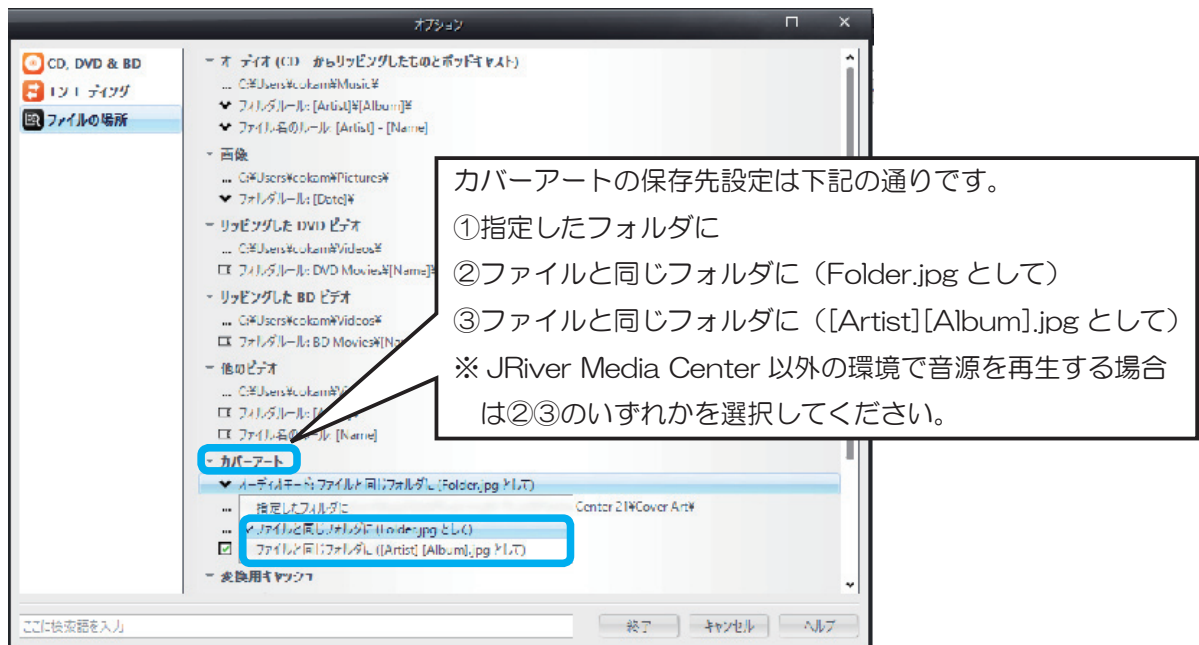
・ [Artist]-[Album]-[Track#]-[Name] : ●●●●●● - △△△△△ - ① - あいうえお

・ [Artist]-[Track#]-[Name] : ●●●●●● - ① - あいうえお

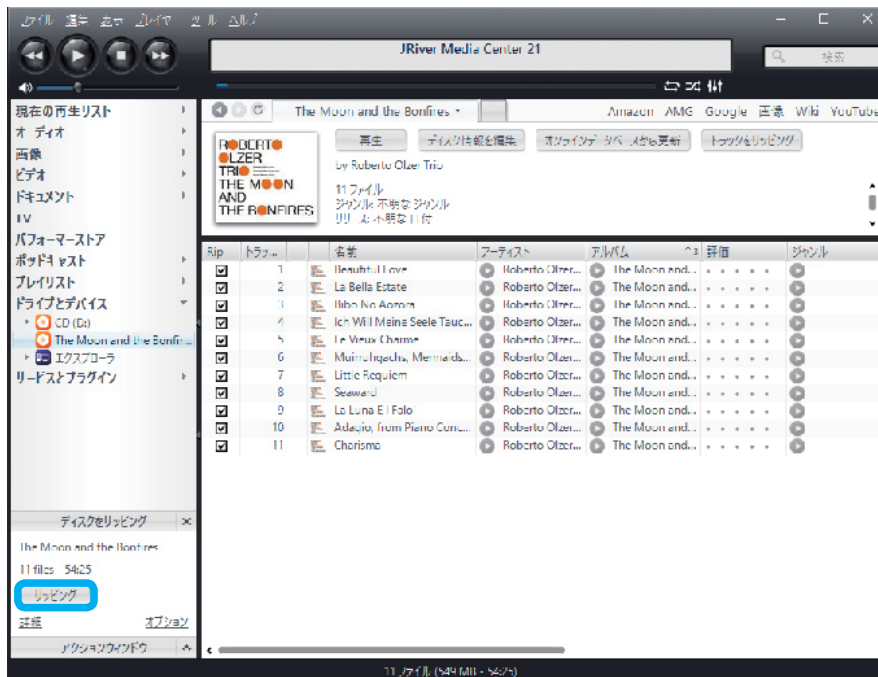
・ [Track#]-[Name] : ① - あいうえお

上記を参照し、お好みのファイル構成と曲目表示の設定をおこなってください。

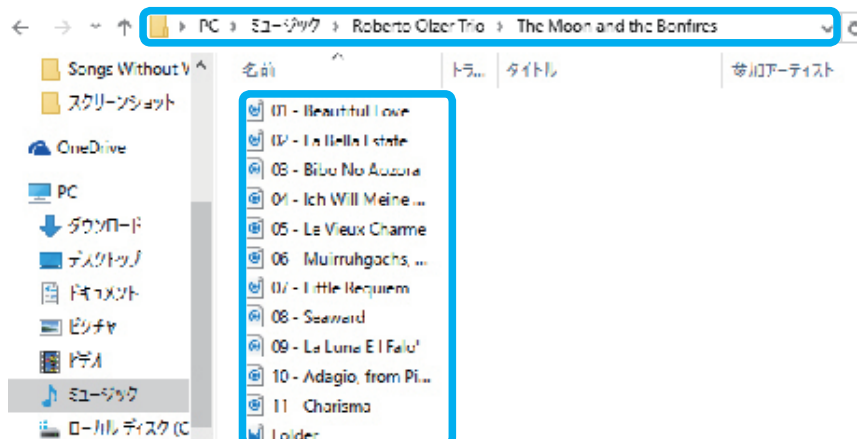
2. CD ジャケット画像の保存先を設定します。下記画像を参照に保存先を設定します。



3. 【オプション】を閉じ、“リッピング”をクリックすると、リッピングが開始します。



4. 指定したフォルダーに音源と画像データが保存されていることを確認します。

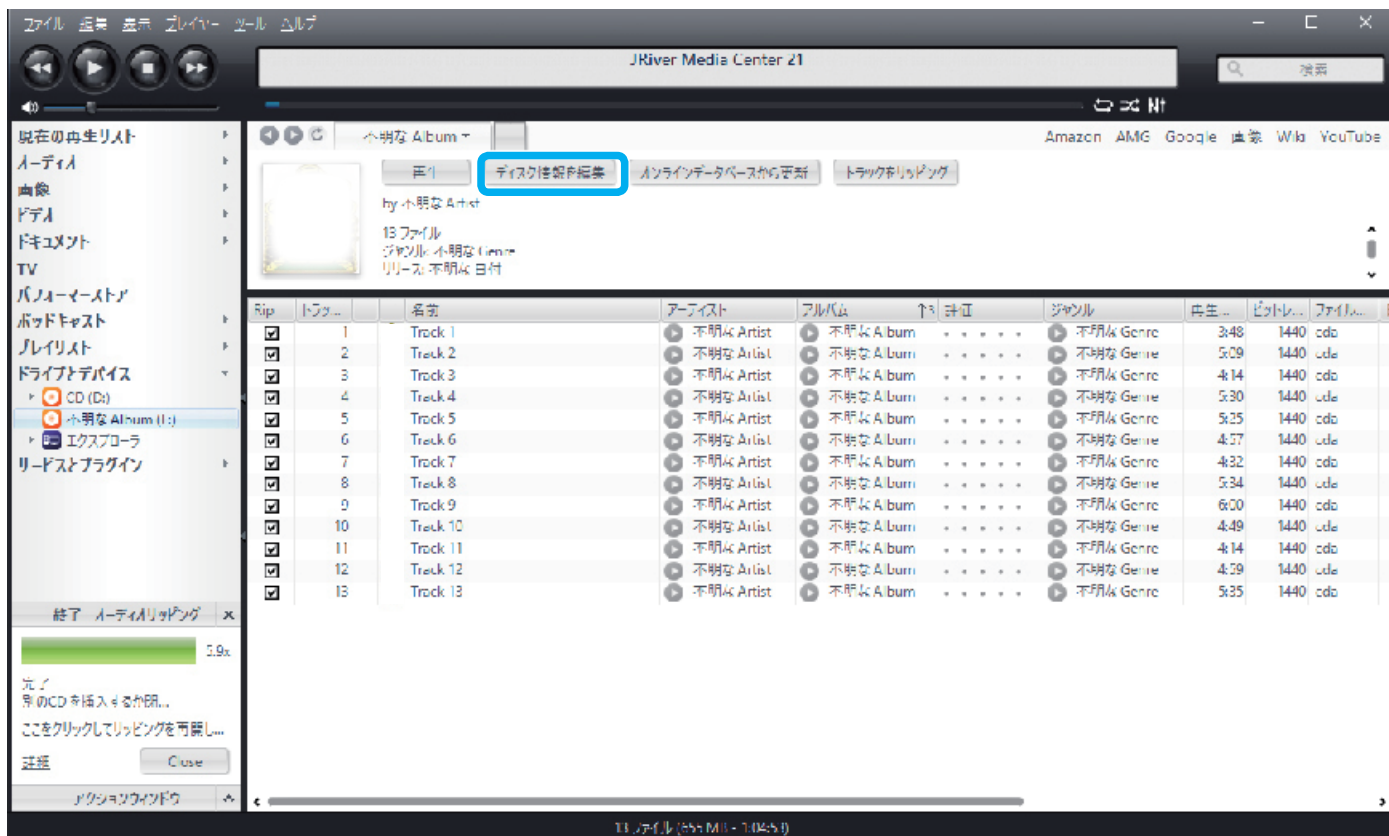


以上でリッピング完了です。

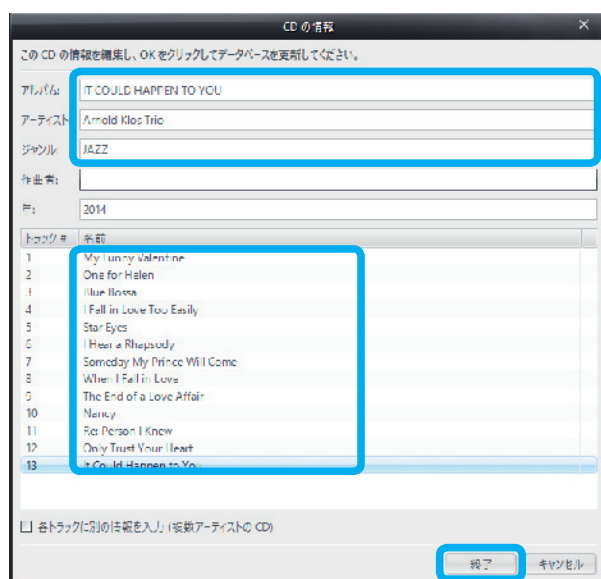
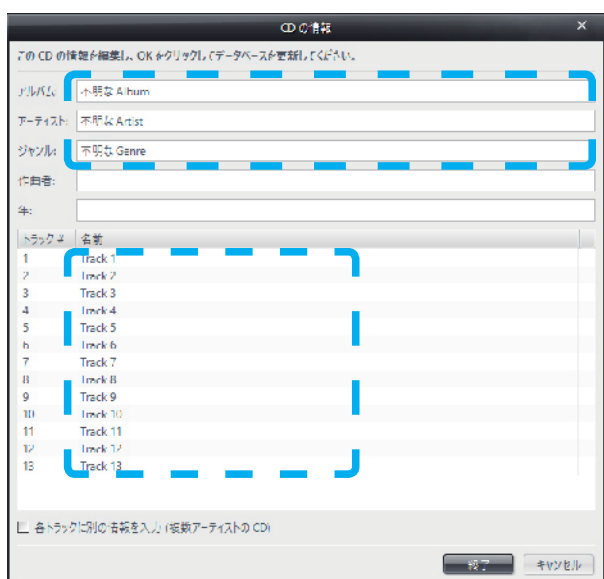
## 5 ディスク情報が表示されない場合

光学ドライブに挿入したCDがデータバンクに登録されていない場合、下記の手順でリッピング前に編集すると、テキストを音源データに反映することができます。

1. 光学ドライブにCDを入れてもディスク情報が表示されない場合、【ディスク情報を編集】をクリックします。



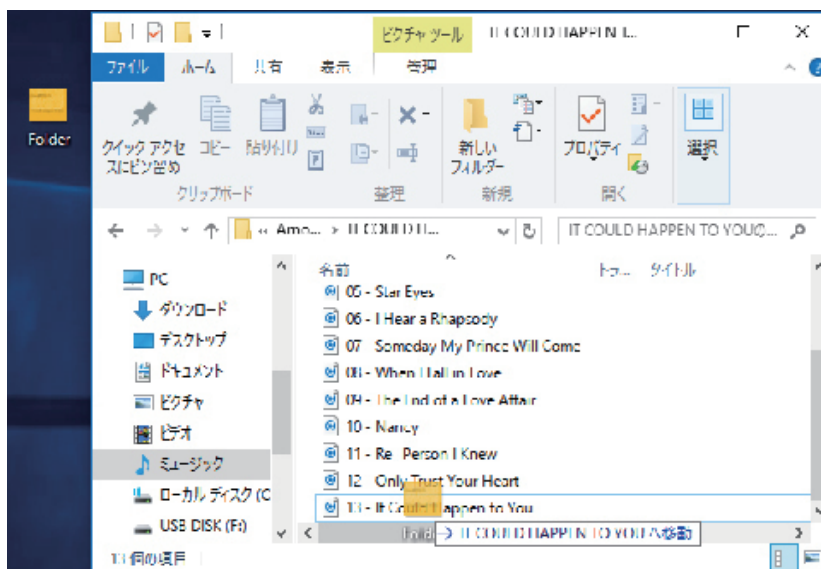
2. 【CDの情報】が表示されます。アルバム名など、各項目を入力し、“終了”をクリック後にリッピングを開始します。



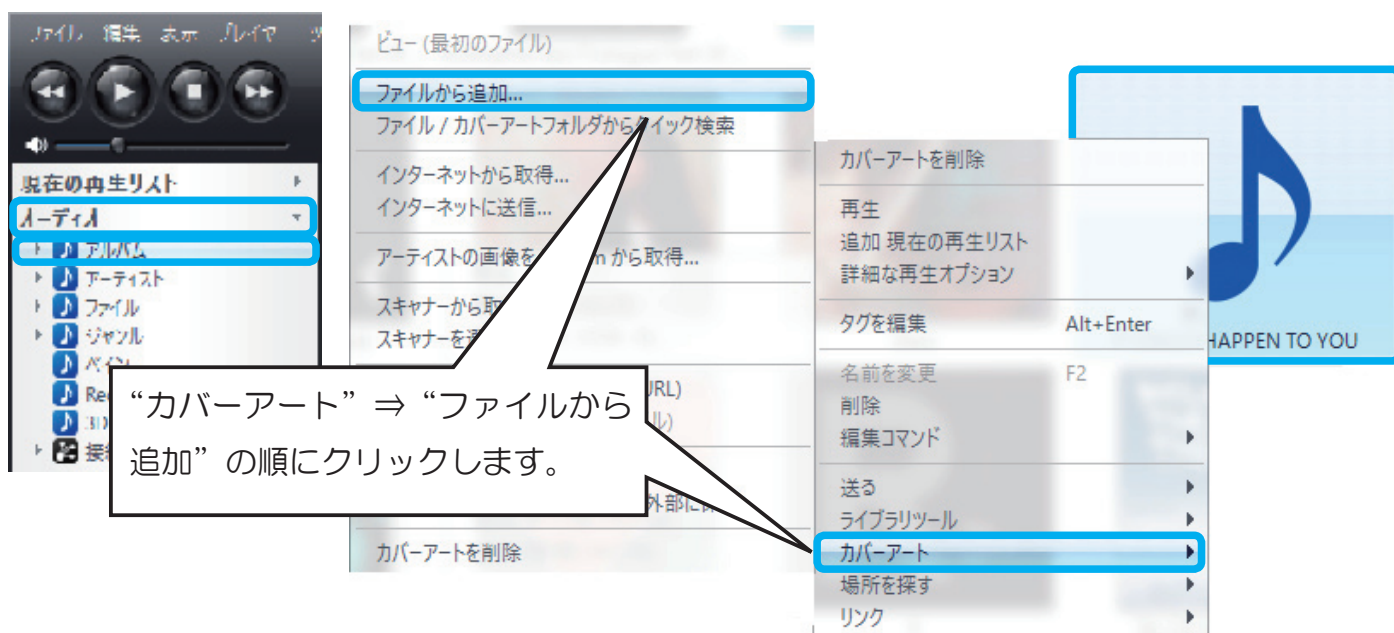
## 6 カバーアートが表示されない場合

光学ドライブに挿入したCDのカバーアートがデータバンクに登録されていない場合、下記の手順で編集することでカバーアートを表示することができます。

1. お好みの画像データ (jpeg) に 6 ページ 4-2. で設定したファイル名 (“Folder.jpeg” または [Artist][Album].jpg) を付け、JRiver Media Center でリッピングした音源と同一のフォルダに保存します。

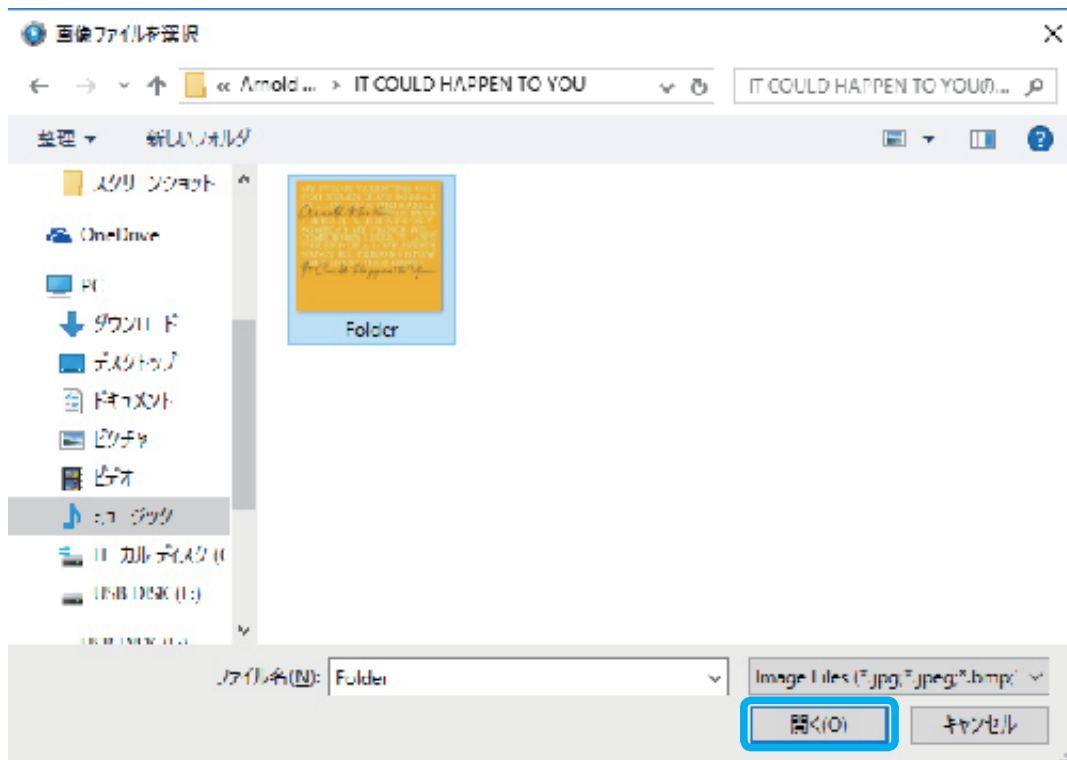


2. JRiver Media Center を起動し、【オーディオ】⇒【アルバム】をクリックし、リッピングしたアルバムにカーソルを合わせて右クリックします。

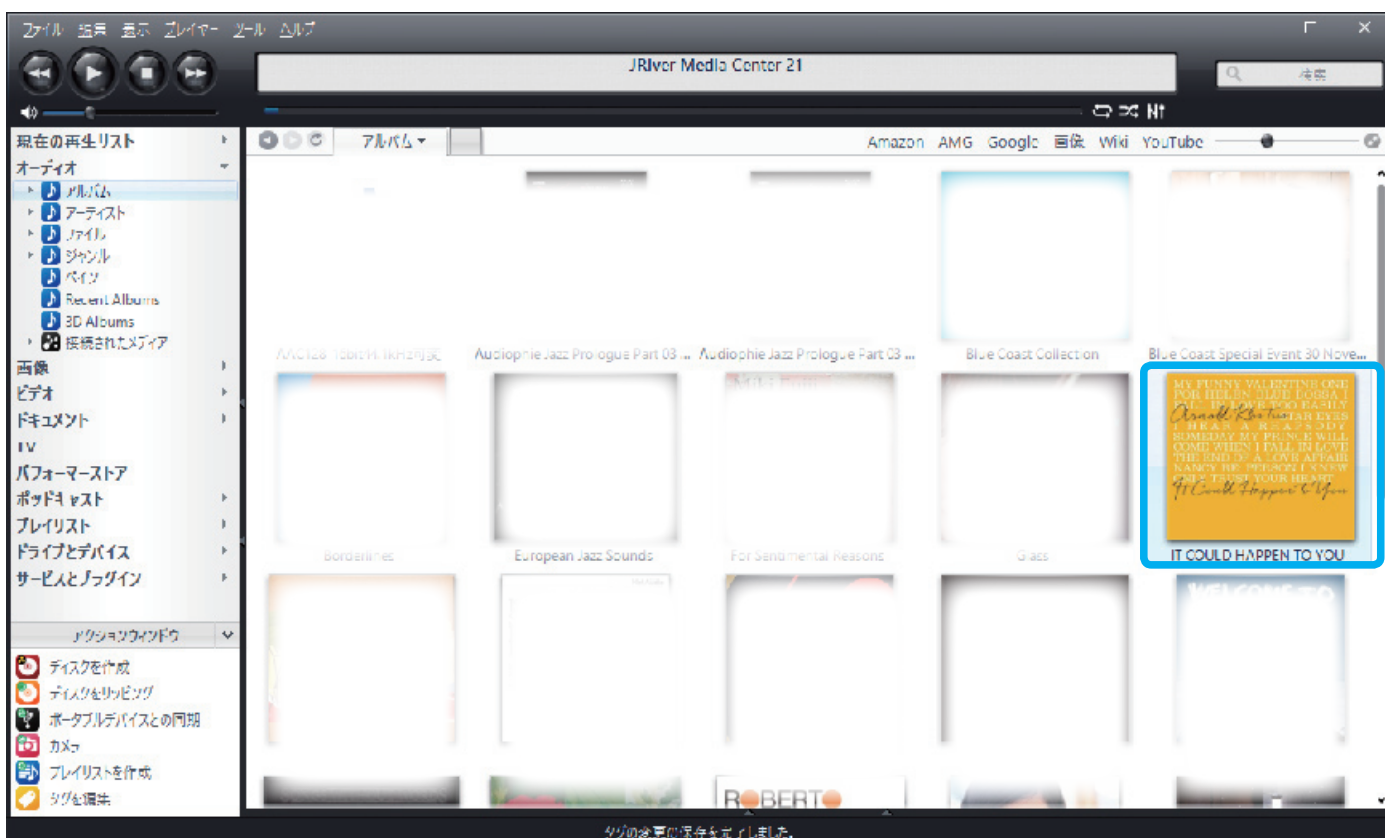




3. 2.で指定したフォルダー内の画像ファイルを選択し“開く”をクリックします。



4. カバーアートが表示されます。



保存した画像の参照方法が異なる再生ソフトや DLNA コントロールアプリなどでは、JRiver Media Center でリッピングした音楽ファイルのカバーアート（アルバムアートワーク）が表示されない場合があります。カバーアートが表示されない場合は、使用する環境に応じて参照できるファイル名に変更するなど、設定を変更してください。

※詳細については再生ソフト / コントロールアプリメーカーへお問合せください。